



企画展「人権の世紀へ」を開催します

人権の歴史、人権施策の流れ、愛知県の人権啓発の取り組み、人権の様々な課題などをパネルで紹介します。また、ちばてつや氏などの有名漫画家による人権メッセージパネルも併せて展示します。

さらに、関連行事として、愛知県が平成4年に制作した人権啓発映画「母たちの応援歌」の上映会を行います。

▼ちばてつや氏のパネル



企画展 期間:平成22年7月1日(木)から7月23日(金)まで
場所:愛知県東大手庁舎3階 あいち人権啓発プラザ

映画上映会 日時:7月2日(金)、8日(木) 第1回10時30～、第2回13時～
場所:愛知県東大手庁舎地下1階 大会議室

映画の内容

主人公は、同和問題に理解があり、被差別部落の女性と自らの強い意志で結婚して平和で楽しい家庭を築いていた。ところが、心ない人からの中傷・差別に直面し逃げ出そうとする主人公。しかし、それぞれの母たちの助言により崩れそうになる家庭の絆を取り戻し、差別に立ち向かう真の理解者に成長していく。(平成4年制作 上映時間54分)

<出演者>岡まゆみ、丹波義隆、左幸子、南田洋子 等

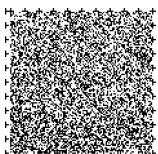
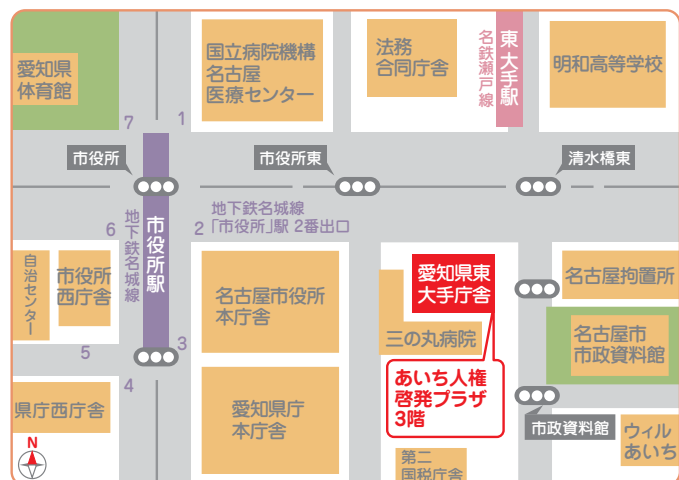
人権クイズの答え ②世界人権宣言

世界人権宣言は、1948年12月10日に、国連総会で採択されました。この世界人権宣言の第1条では、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である。」とうたわれました。世界人権宣言は、法的な拘束力はありませんが、全世界に向けて初めて基本的人権をうたった画期的な宣言です。この世界人権宣言は「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、普遍的に尊重され、守られていくべきものといえます。その後、この宣言の精神を実現するため、人種差別撤廃条約(1965年採択)、国際人権規約(1966年採択)など、さまざまな人権に関する条約がつけられ、その約束を果たすため、世界各国が協力しています。

人間らしく生きて幸せになりたい気持ちは、だれもが持っています。世界の一人ひとりの前向きな気持ちが、「人権の世紀」へのエネルギーになっていきます。

交通案内 あいち人権啓発プラザ

- 地下鉄名城線「市役所」下車(2番出口)より、東へ徒歩3分
 <名古屋駅から>
 ①地下鉄東山線(藤が丘行き)乗車、「栄」で乗り換え
 →地下鉄名城線(右回り、市役所・大曽根方面)乗車
 「市役所」で下車
 ②地下鉄桜通線(野並行き)乗車、「久屋大通」で乗り換え
 →地下鉄名城線(右回り、市役所・大曽根方面)
 乗車「市役所」で下車
- 名鉄瀬戸線「東大手駅」 南へ徒歩2分
- 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩4分



愛知県民生活部県民総務課人権推進室

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3丁目2番1号 愛知県東大手庁舎 3階

電話番号:052-954-6167 FAX番号:052-973-3582

人権推進室のホームページ: <http://www.pref.aichi.jp/jinken/>